

音声入力の使い方

Android アプリでは、栽培記録の入力や検索において音声入力ができます。

音声で認識できる単語は、辞書で設定されている単語が対象となります。 ※辞書設定について 参照

大きく分けて3種類の音声入力を利用できます。

①一括音声入力



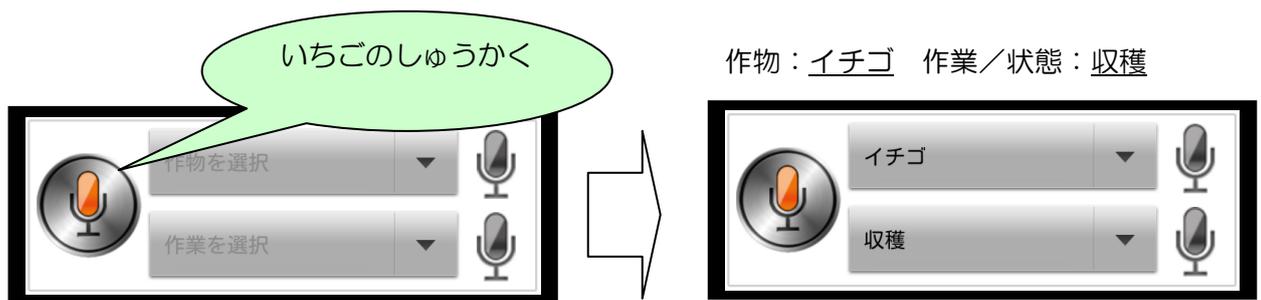
[対象]

○栽培記録入力：「作物」と「作業/状態」 「数量」と「単位」

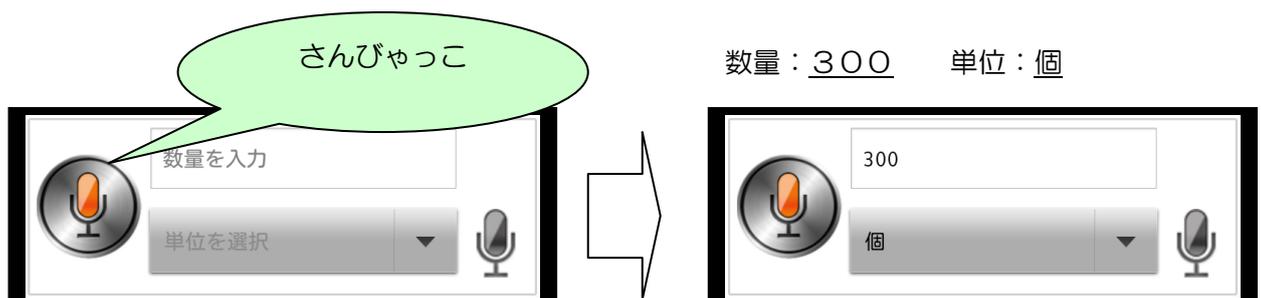
項目左側のあるオレンジのマイクでは、「〇〇の〇〇」や「〇〇を〇〇」など接続語を入れて話すことで、項目の単語が自動認識してセットされます。

※「数量+単位」は接続語なしでそのまま話してください。

●「作物」と「作業/状態」の例)



●「数量」と「単位」の例)



②個別音声入力



[対象]

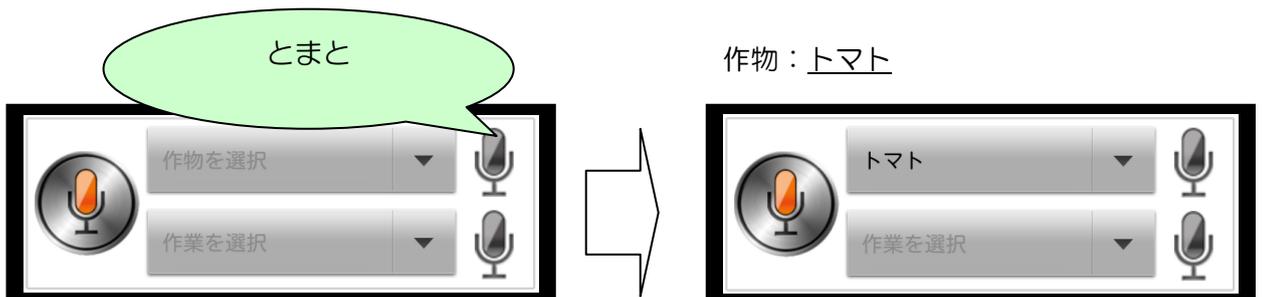
○栽培記録入力：作物 作業／状態 単位 圃場
作業者 任意1 任意2

○各種検索設定：作物 作業／状態 単位 メモ検索
作業者 任意1 任意2

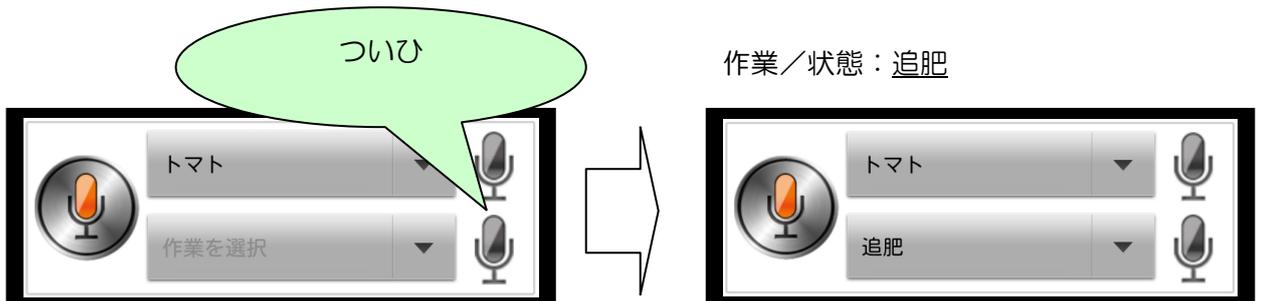
※作業者、任意1、任意2はオプション機能

項目右側にある黒マイクボタンでは、各項目単体を音声で認識する事が出来ます。

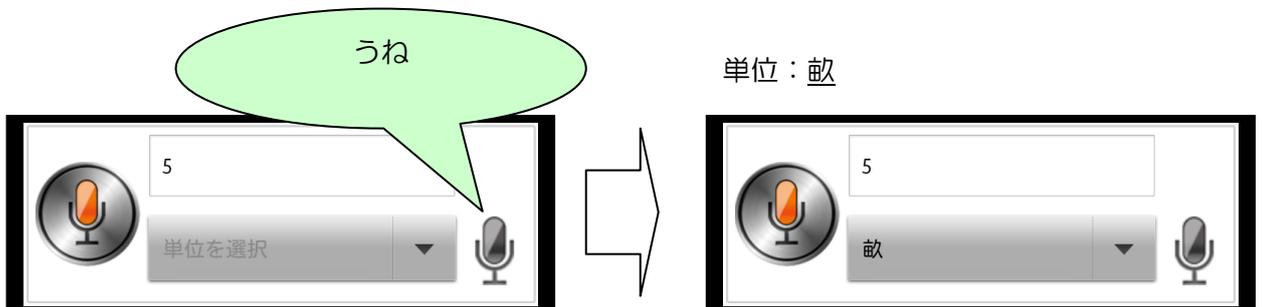
●「作物」の例



●「作業／状態」の例)



●「単位」の例)



※各種検索設定画面にはサンプルの様なオレンジの音声アイコンはありません。

③音声選択入力

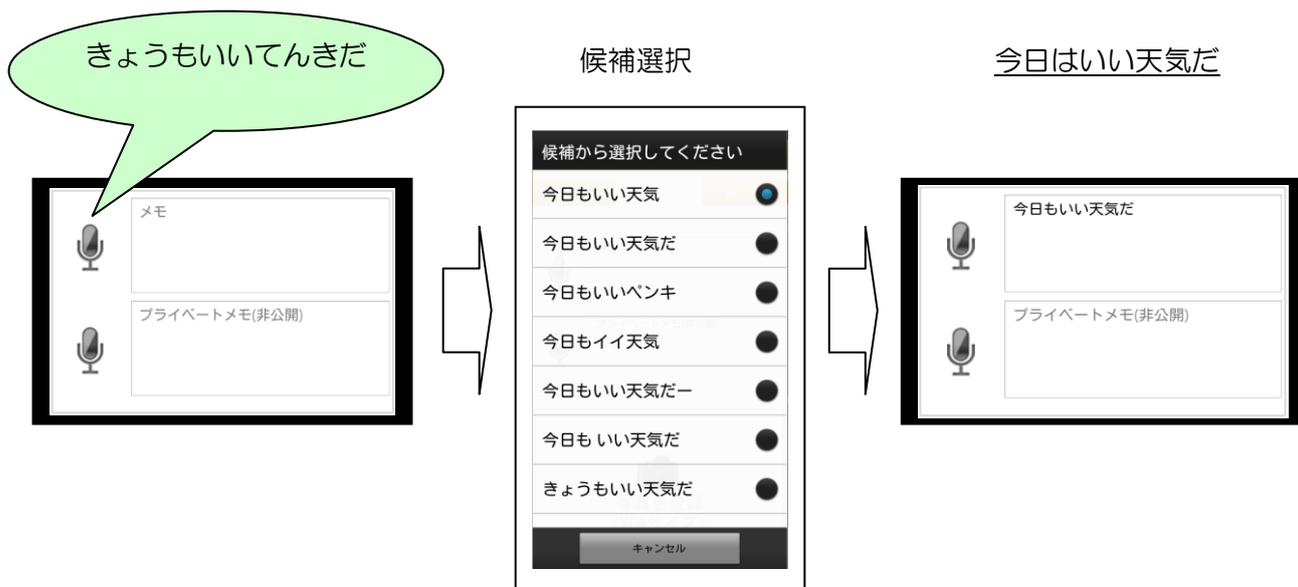


[対象]

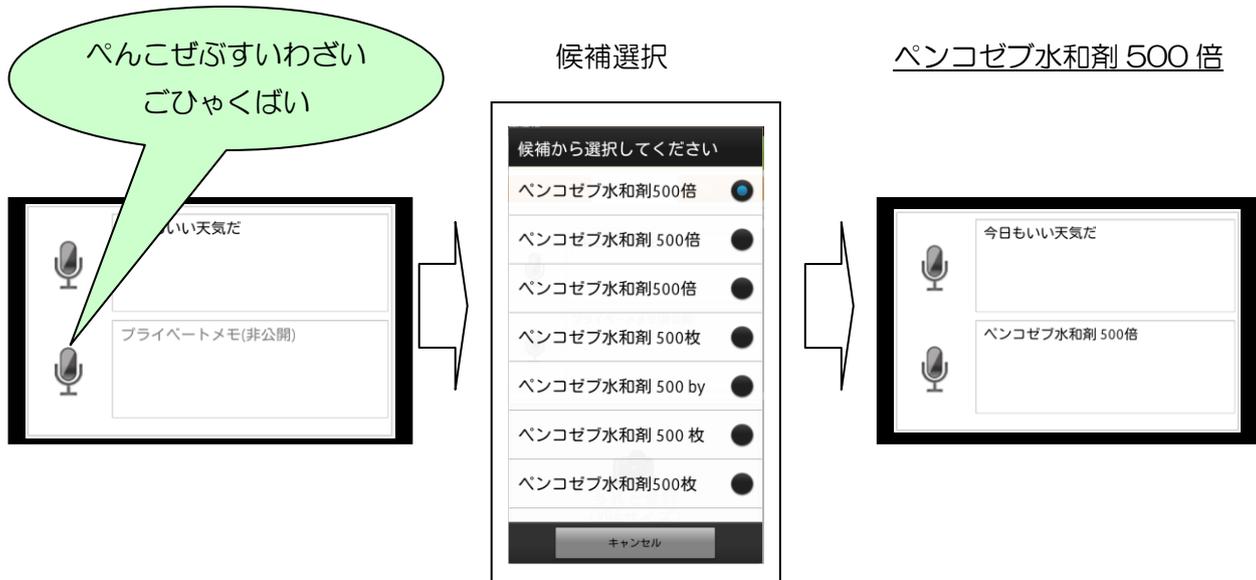
○栽培記録入力：メモ プライベートメモ

メモやプライベートメモは、記録したい情報をフリー音声入力が入力できます（左側の黒マイク）。通常の Android アプリで使用できる Google 音声入力（発声⇒候補から選択）の形式です。

●「メモ」「プライベートメモ」の例1)



●「メモ」「プライベートメモ」の例2)



※入力エリアをタップしてキーボード入力での編集も可能です。

【複数候補選択について】

音声入力によって、アプリが複数の候補を検索する場合があります。

たとえば、

- 作物を「すもも」と話すと ⇒ 「すもも」「もも」を候補として表示 ⇒タップして選択



- 作業を「らっか」と話すと ⇒ 「落花」「落果」を候補として表示 ⇒タップして選択



このように、同じ呼び方をするものや、言葉を含むものが別にある場合など、アプリの音声認識機能が複数候補をキャッチし、選択をユーザーに委ねます。

この機能は、辞書機能を持ちさらに音声入力できる項目（作物、作業、単位）に備わっています。

【認識されやすい話し方／こんな話し方も】

通常は普段通りの話し方でお話してください。

認識されにくいと感じた場合は、以下のような工夫をしてみてください。

- 周囲のノイズ（雑音）を拾ったり、イントネーションの違い等により思い通りの結果が返されない場合があります。この様な場合は、
 - ・ スマートフォンを比較的口に近付けて話してみる
 - ・ はっきりとした口調で話してみる

※音声の認識精度は、スマートフォンの機種によって差があります。

- 「作物＋作業／状態」の一括音声入力は接続語を入れて話す事を推奨します。

例) 推奨の発声 : 「いちごのしゅうかく」(イチゴの収穫)
「きゅうりがかいか」(キュウリが開花)
「なすにさんすい」(ナスに散水)
「ねぎをうえつけ」(ネギを植え付け)

工夫の発声1 : 「いちごをしゅうかくした」
⇒ 「～した」「～する」など、作業／状態を動詞として話す事も出来ます。

工夫の発声2 : 「いちご▲しゅうかく」
⇒ 空白(▲)の時間が長い場合は、「いちご」だけで発声が終了したと認識される場合があります。間隔のクセを把握してください。

作物と作業／状態の組み合わせによって、工夫した話し方を試してください。

- 「数量＋単位」の一括音声入力は、工夫した話し方が必要な場合があります。

例) 「100個」と認識してほしい場合

通常の発声 : 「ひゃっこ」 ⇒ 認識されない場合がある

工夫の発声1 : 「ひゃくこ」 ⇒ 認識される場合が多い

工夫の発声2 : 「いちぜろぜろこ」 ⇒ 認識される場合が多い

※同様に「1個」や「10個」など、通常の数値を変化させて話すケースは、同様の工夫が必要です。

また、数量の桁が多い(特に4桁:千の位を超える)音声入力は、思い通りの数値を返さない場合があります。 ※数値によって異なります。

【認識がうまくいかない場合の対処】

各種音声入力をした際、【認識されやすい話し方／こんな話し方も】の通り使用しても思い通りの結果が返されない場合があります。以下の通りの対処を行ってください。

- 一括音声入力で片方又は両方とも認識されない ※「作物＋作業／状態」、「数量＋単位」

⇒ 個別の音声入力(右側の黒マイク)をお試しください。

※数量は個別の音声入力はありません。

- 個別の音声入力(右側の黒マイク)でも認識されない

⇒ 各項目をタップし、一覧表示より対象を選択してください。

※ユーザー自身が利用する辞書を整理し、タップから候補選択し易くすることをお勧めします。

・必要のない辞書を削除する ⇒ タップによる候補選択は自身が使用する名称のみ選択可能となりますので、必要のない名称を削除し、選択の手間を極力省く(選択肢を少なく)事をお勧めします。

- 独自に新規登録した辞書データ（作物・作業／状態・単位）が、音声入力で認識されない
以下の方法によって音声入力で認識できる可能性があります。

例) 作物の新規辞書データとして、みかんの品種である「甘平」を登録

⇒ 「かんぺい」と話しても認識されない

①名称を変更して対処する方法

「甘平」をひらがなに名称変更 ⇒ 「かんぺい」

⇒ 「かんぺい」と話すと「かんぺい」で認識されます

※但し、入力された履歴は「かんぺい」で運用されます。

※システムが事前に準備している辞書の名称は変更できません。

②話し方を変えてみる方法

「あまひら」と話す

⇒ 「甘平」で認識されます

メモやプライベートメモの選択音声機能(あるいはスマートフォンが持っている Google の音声認識) を利用し、目当ての候補が表示されるかを確認する事により判断しやすくなります。

あくまでユーザー自身が許容できる範囲で対処してください。